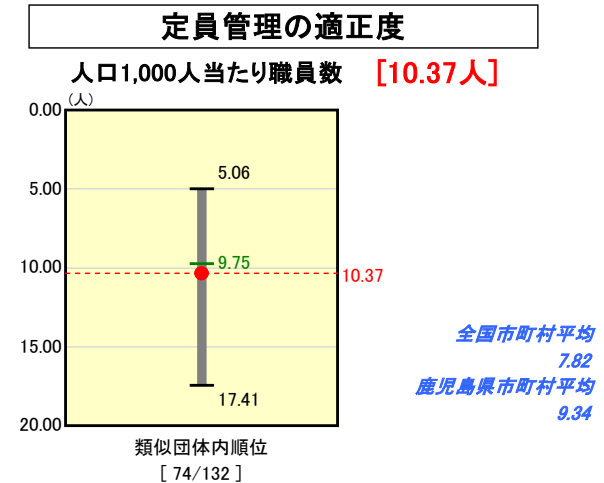
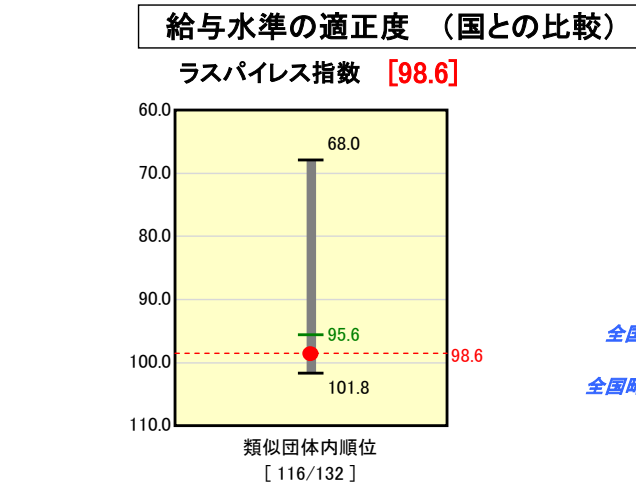
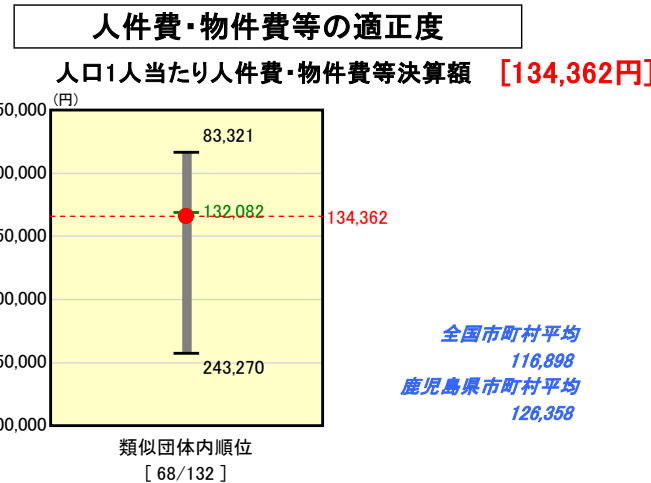
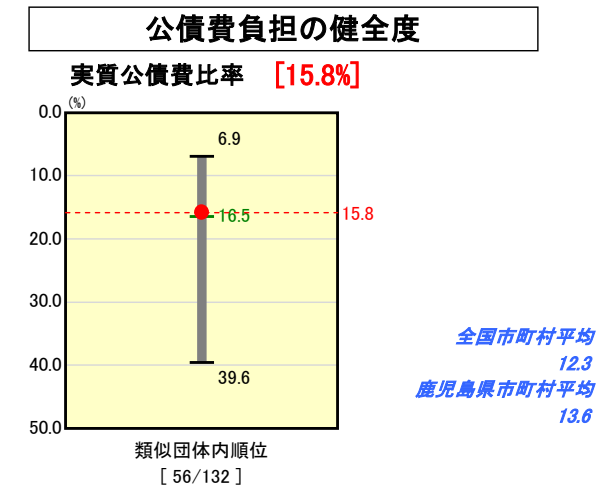
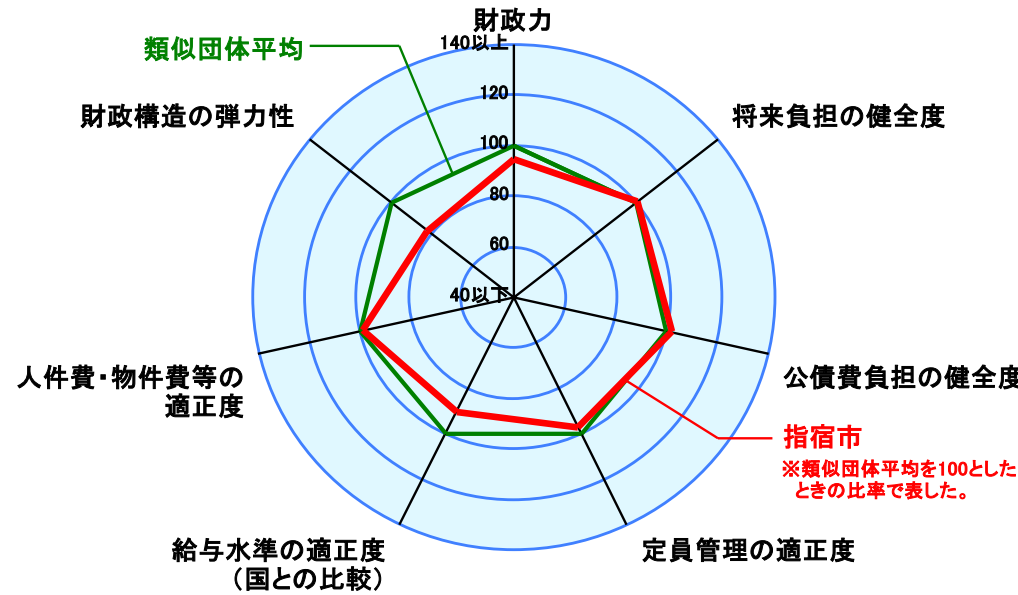
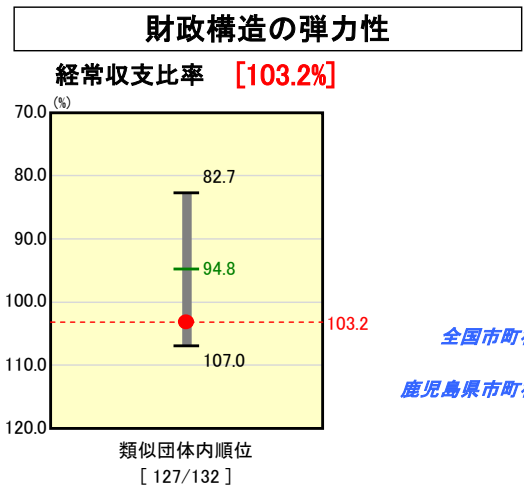
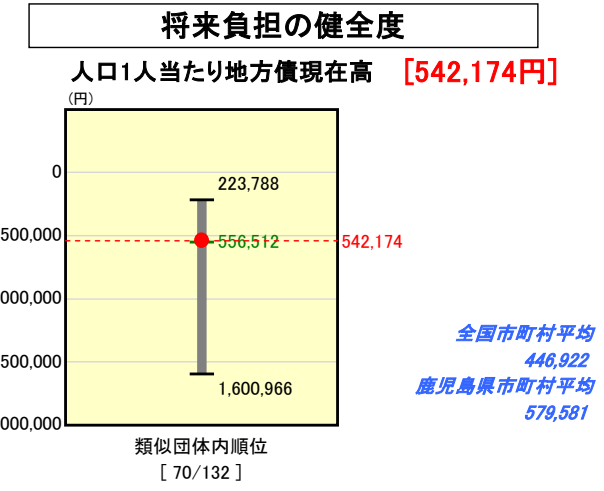
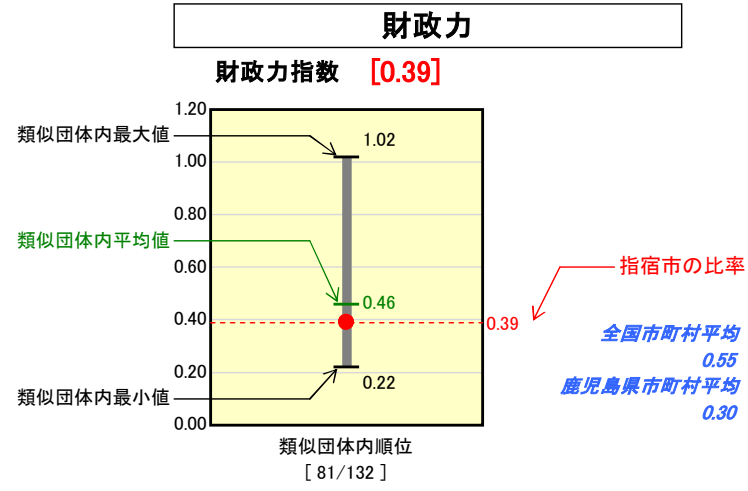


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 鹿児島県 指宿市

人口	45,892 人(H20.3.31現在)
面積	149.01 km <sup>2</sup>
歳入総額	20,820,582 千円
歳出総額	20,380,111 千円
実質収支	401,397 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力】**  
・人口の減少や全国平均を大きく上回る高齢化率(19年度末30.85%)に加え、基幹産業である農林水産業の低迷により類似団体平均値より大きく下回っている。今後は、「集中改革プラン」に基づき市税の徴収確保対策を中心とする歳入確保に努める。

**【財政構造の弾力性】**  
・扶助費、公債費の増により類似団体より大きく下回っている。平成19年度から職員の給与カット(市長15%・職員3%)による人件費の削減や補助金の見直しを行ったところである。今後は更なる事務事業の見直しを図り、経常経費の削減に努める。

**【人件費・物件費等の適正度】**  
・人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口一人当たりの金額が類似団体を上回る要因として人件費が要因となっている。今後は「集中改革プラン」に基づき、職員数の適正化を図っていく必要がある。

**【給与水準の適正度】**  
・合併に伴い、旧市町間の給与格差の調整を行っていることから、前年度比較で1.4ポイント、類似団体平均を3.0ポイント上回っている。今後は、新給与制度により適正な運用制度を引き続き実施するとともに、給与削減(職員給与3%、管理職手当2%)の実施により、類似団体平均を3.0ポイント上回っている。

**【将来負担の適正度】**  
・現在は、類似団体平均値を下回っているが、今後は小・中学校の整備事業など大きな事業が見込まれることから、プライマリーバランスを視野にしながら、後世代に負担を強いることのないよう適正な市債の発行に努める。

**【公債費負担の健全度】**  
・ここ数年、市債の発行抑制(上限枠の設定20億円)に努めたことから類似団体平均値を下回っている。今後も普通建設事業費の抑制や、借換債の活用を行い公債費の縮減に努める。

**【定員管理の適正度】**  
・平成18年1月1日の合併に伴い、人口1,000人当たりの職員数は類似団体平均値より高い水準となっている。新規採用職員の不補充により職員削減に努めているが、今後も「行政改革大綱」に沿って組織機構や事務事業の見直しを行いながら、適正な定員管理に努める。